

2022 年 6 月 17 日

嬉野温泉宿泊施設の工事着手のお知らせ

施設名称は「嬉野 八十八（うれしのやどや）」に決定！

当社では、嬉野温泉宿泊施設の開発を進めてまいりましたが、本日現地にて安全祈願祭を執り行い、工事に着手することとなりましたのでお知らせいたします。

なお、施設名称については、新たに「嬉野 八十八（うれしのやどや）」と名付け、嬉野の大きな魅力である「温泉」と「お茶」をコンセプトにした湯宿をつくります。

2023 年秋の開業を目指し、西九州新幹線との相乗効果を図り、西九州エリアの価値向上に努めてまいります。

なお、宿泊料金や予約開始の時期等が決まりましたら改めてお知らせいたします。

1. 計画概要

- ・所在地 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿丙 2400-30
 - 嬉野温泉バスセンターから徒歩 3 分
 - 嬉野 IC・西九州新幹線嬉野温泉駅から車で 5 分程度
- ・敷地面積 9,565.36 m²
- ・延床面積 約 5,300 m²
- ・階数 [母屋棟] 鉄筋コンクリート造 4 階建て
[離れ棟] 木造平屋建て
- ・客室数 36 室（母屋棟 24 室、離れ棟 12 室） ※全室 100%源泉かけ流しの浴室を設置

2. スケジュール

- ・2022 年 6 月 17 日 工事着手
- ・2023 年 8 月 竣工（予定）
- ・2023 年 秋 開業（予定）

3. 施設名称・ロゴマーク

- ・施設名称 「嬉野 八十八（うれしのやどや）」
- ・ロゴマーク



4. コンセプト・イメージ 【別紙】

※パースは現時点でのイメージであり、今後の設計及び関係機関等との協議により、変更する場合もございます。

嬉野 八十八 コンセプトまとめ

■施設名称

嬉野 八十八 (うれしの やどや)

〈命名の由来〉

茶農家の多い嬉野の暮らしは、春先に小さな芽が出始める時から落ちつかない日々が続きます。立春から八十八日目の八十八夜はもっとも茶葉がおいしくなる大切な日です。そして末広がりの八が重なる縁起の良い日です。「八十八」にあやかり、茶を愉しむ宿として嬉野 八十八 (やどや) としました。

■ロゴタイプとロゴマーク

〈デザインについて〉

繁栄を意味する七宝紋のように四方に茶葉をまわし、中央に茶葉の新芽を十字に描き、八十八 (やどや) の家紋をイメージとしたデザインとしました。これからもこの地域に根ざし風土を大切にしながら、新しい文化を築きたいという思いを込めました。



■ブランドコンセプト

うれし、うるわし、茶とかけ流しの湯宿 (ゆやど)

茶と温泉で心と体が調 (ととの) い和していく湯宿 (ゆやど) を目指します。嬉野の最大の特産品である嬉野茶。毎日、自ら点て振る舞う茶は、嬉野茶の魅力を存分に感じていただけるものです。そして、日本三大美肌の嬉野温泉。希少な 100% かけ流しの湯は、全客室に設置。また、大浴場には茶アロマのロウリュウサウナを設け、心ゆくまで体を調 (ととの) えていただけます。

嬉野を核とした佐賀の食、工芸、風土等、地域の価値を存分に活かす湯宿 (ゆやど) として、様々なプランをご提供して参ります。

嬉野 八十八 イメージ

■外観

茶の木の生垣が連なるアプローチを抜けて、大きなむくりの銅葺き屋根の車寄せへ。
茶の緑と大きな緑の暖簾でお客様をお迎えします。



■離れ客室

100 ㎡ほどの開放感溢れる離れの庭付きスイートルーム。
かけ流し温泉とロウリュウサウナと水風呂で心と体が調（ととの）います。



■ティーセレモニールーム

毎日、八十八の自慢の茶葉を丁寧なお手前で淹れます。
茶の香りとともに、嬉野の風土や文化に触れる豊かな時間が流れます。

